

令和4年度 ボランティア保険のご案内

◎ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償します。

◎補償期間（保険期間）

令和4年4月1日午前0時から令和5年3月31日午後12時まで

※中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から令和4年3月31日午後12時まで

◎保険料（1名あたり）

NEW!

加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
保険料	350円	500円	550円

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは地震、噴火、津波が起因する死傷は補償されません。

- ◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。
- ◆中途での、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。
- ◆年度途中の加入は新設の『特定感染症重点プラン』がおすすめです。
(新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症に初日から対応しています。)

◎ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事における主催者や参加者のケガ、主催者の賠償責任（主催者責任）を補償します。



◎補償期間（保険期間）

行事開催期間（加入申込完了日の翌日午前0時以降の行事開催日から補償されます。）

◎保険料（1名あたり）

Aプラン（宿泊を伴わない行事）		
A1行事	A2行事	A3行事
1日 28円 (最低保険料 560円)	1日 126円 (最低保険料 2,520円)	1日 248円 (最低保険料 4,960円)

※Bプラン(宿泊を伴う行事)、Cプラン(宿泊を伴わないかつ参加者が事前に特定できない行事)もあります。



○古切手
・浜田市役所
・相生3しあわせ会
・新井和弘
○タオル
・相生3しあわせ会
・くにびき学園OBいっばち会
・くにびき学園OBいっばち会
○新聞コミバック
・くにびき学園OBいっばち会

善意の物品寄付に対し、心より
お礼申し上げます。

(順不同・敬称略)

善意のお礼
令和3年3月16日〜令和4年2月28日の期間中、次の収集ボランティアさんにご協力いただきました。ありがとうございます。

はまボラ



～浜田のボランティアセンター情報～

子育て広場

浜田市社会福祉協議会では毎月『子育て広場』を各地域で開催しています♪ボランティアさんの協力のもと主に3歳未満のお子さんとその親子さんが参加され、楽しい時間を過ごしています。

コロナ禍で人と会う機会が減ったこともあり、それぞれの地域で工夫の凝らしたイベントは親子さんにも大人気で、毎月全部の広場に参加される方もいらっしゃいます♪

お子さんが楽しめる事はもちろんですが、お母さんやお父さんにもふっと一息休憩できる！そんな子育て広場になっています。

地域との繋がりが希薄になる今こそ、子育て広場を通して新しい繋がりが出来たらと思います。



【石見地区】クリスマス会



【長浜地区】芋ほい



【周布地区】海遊び

浜田地区：ママクラブとコラボ
石見地区：毎月の絵本読み聞かせ
長浜地区：芋ほり
周布地区：海遊び
美川地区：美川幼稚園とのコラボ
国府地区：五平餅 などなど

楽しいイベントがたくさん♪



社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会 ボランティア情報誌 令和3年3月発行
編集発行 浜田市ボランティアセンター 〒697-0016 浜田市野原町859-1
TEL：0855-22-0094 FAX：0855-22-6930

ボランティア養成講座

◇ あいサポーター研修 ◇

9月22日(水)、浜田市総合福祉センターにおいて、24名の方が参加しボランティア養成講座のあいサポーター研修を開催しました。

この研修は、誰もが多様な障がいの特性や障がいのある方の困りごと、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、そして、必要なときにちょっとした手助けができる方を養成し“やさしくて温かい地域社会づくり”をみなさんと行っていくために開催しています。

今年度は各障害者の特性について丁寧に説明している内容の島根県版の資料や最後には簡単な手話の行い、参加した方も理解しやすい内容になったと思います。

今後更に地域の方の理解と関心が深まるように、出前講座も行っていきたいと考えています。



◇ 認知症サポーター養成講座 ◇

10月19日(火)、浜田市総合福祉センターにおいて、33名参加のもと認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症は誰でも起こる可能性のある脳の病気です。65歳以上の高齢者4人に1人が認知症とその予備軍になると言われています。そんな認知症に対する正しい知識と理解を身につけるため、認知症キャラバンメイトの吉川 優子氏に、認知症の方と接するときの心構えや配慮(支援)の仕方など、認知症について分かりやすく講義をしていただきました。

周りの方々の温かいサポートがあれば、認知症になっても新しい人生をつくることのできる、できることを奪わないことが大切だと改めて実感する講座となりました。



※令和4年度もあいサポーター研修・認知症サポーター養成講座を計画しています。

また、島根県社会福祉協議会で、あいサポートメッセンジャーのフォローアップ講座の計画もあり、令和4年度は浜田会場で開催予定です。

車いすバスケットボール体験

12月21日(火)、浜田市立浜田東中学校の2年生・3年生に三光スイーパーズさんを講師に迎え、『車いすバスケットボール体験』を行ないました。

車いすバスケットには、障がいの程度によって持ち点があり、1チーム14点未満で構成されることも説明してもらい、『障がいが高くても、みんなが平等に楽しむことのできる、素晴らしいルールがある』と、生徒たちも真剣に講師のお話を聞いていました。

車いすバスケットの基本的なルールやちょっとしたコツ！競技用車いすと一般用車いすの違いなどについても教えてもらった後には、実際に練習・試合を行ないました。

シュートが決まると、周りの生徒もみんな喜び、とても良い雰囲気の中で学びを深めることができました。

福祉体験学習



今年度もたくさんの学校から、福祉体験学習のご依頼をいただき、あいサポート研修や手話、アイマスク(ブラインドウォーク)体験や車いす体験などを行ないました。

また、東京2020パラリンピック公式競技である『ボッチャ』や、今年度は島根オロチビート浜田さんにも協力を頂き、『ブラインドサッカー』の体験を行いました。障がいと苦手は同じと、スポーツを通じて分かりやすく教えて頂き、学びを深める事が出来ました。

さまざまな障がいの特性や必要な配慮、ちょっとした手助けの仕方についてなど、たくさんのことを学び、この体験や学びを通して、地域で困っている人を見かけたら、ちょっとした手助けや配慮のできる、相手を思いやる気持ちをこれから育てていってほしいと思います。

◆ 原井小学校



【疑似体験】

◆ 国府小学校



【ブラインドサッカー】

◆ 長浜小学校



【ボッチャ】

◆ 浜田東中学校



【車いすバスケット】

